

聖霊降臨節第10週 主日礼拝

2018年7月22日 第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(19:30~)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ミカ書』6章6-8節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌21「輝く日を仰ぐとき」	一同	
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	一同	
代表祈禱		司会者	
感謝の賛美	新聖歌206「飼い主わが主よ」	一同	
聖書朗読	『ルカの福音書』18章15-23節(新約153頁)	司会者	
黙想		一同	
メッセージ	「捨てきれないのはなぜ」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌202「一度死にしわれをも」	一同	
感謝の献金	(新聖歌58)	一同	
感謝祈禱		伊東一馬兄	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌63「父御子御霊の」	一同	
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	一同	
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山勝三兄 献金：	
司集	会：片山健司兄 会：横堀信子姉 渡邊智子姉	音響・録音：片山勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：近伸之牧師 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

先週の暗唱聖句

「自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」 (『マタイの福音書』5章44節)

今週の暗唱聖句

「天にいます私たちの父よ。御名が聖なるものとされますように。御国が来ますように」 (『マタイの福音書』6章9、10節)

牧師のサイン ()

個人、団体からの来信

2018年7月22日

同盟教団より、「西日本豪雨災害対策本部設置のお知らせ」/「西日本豪雨ボランティア募集要項」/
亀田キリスト教会より、領収証/PBAよりDVD/北陸地区KGK/
【きよめキリスト教会の菅原様よりお菓子(琥珀糖)をいただきました】

先週の集会出席者数

7/15(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-	
		幼児女子1 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性2	
	第一礼拝	男2 女2	※月に一回、実用書道教室を開催
	第二礼拝(子ども)	男9 女19 男児2 女児5	7/16(月) 月曜家庭集会 (休会) 7/18(水) 献堂記念祈禱会 男6 女6
夕拝	男1 女1	7/20(金) ※しゃべり場タビタは、子ども会チラシ配布に合流	7/20(金) 金曜祈禱会 男1 女5

諸集会のご案内

7/23(月) 午前9:30	実用書道教室	マルコ4章[種蒔く人のたとえ]	書の指導：藤田美保姉
7/23(月) 午後8:00	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅	
7/25(水) 午後7:30	夏季特別祈禱会	教会堂	司会：小山千春姉
7/27(金) 午後	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：長谷川睦子姉
7/27(金) 夜	金曜祈禱会	教会堂	

7/29(日) 聖霊降臨節第11週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：片山初子姉		
歓迎礼拝 午前10:30	司会：片山勝三兄 集会：渡邊智子姉 小林洋子姉	賛美リード：賛美チーム他 映像・音響：片山浩司兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：猪爪和美姉 ※掃除当番は下表参照
掃除当番順	7/1[笹川清子姉] 7/22[渡邊智子姉]	7/8[長谷川睦子姉] 7/29[猪爪和美姉]	7/15[横堀信子姉]
主日の予定			
子ども向けの夕拝 午後7:00	司会：近伸之牧師 お話し		

報告

- 礼拝の感謝と本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝します。頂いたみことばをかみしめて一週間を歩みましょう。本日は第四週なので賛美練習を持ちます。木南先生は来ることができませんが、音取りCDなどが届いていますので、協力して練習を進めましょう。
- 夏期行事のため
来週29日(日)の晩から教会学校の主催で夏のおとまり会が行われず。30日(月)は当教会でアイスクリームパーティーを持ちます。また翌週には聖ヶ丘バイブルキャンプ場でU-13キャンプがあります。参加者、奉仕者ひとり一人に主の守りと祝福がありますように祈りましょう。
- 先週の来会者
7月15日(日)は山の下福音教会の辺土名誠治伝道師が、説教奉仕で来ていただきました。

礼拝の献金、それは、礼拝のプログラムの中で、ある意味で私たちがもっとも現実と近づくとき、現実と関わる時、現実を表すときであると言えないだろうか。それは、聖書や聖歌を持っていた手がお金を握るときなのである。神の愛に感激し、永遠に思いを馳せたその心がお金の額を思うときなのである。神の教会の会計簿と、私たちの家計簿が触れ合うときなのである。

もともと、信仰と現実が二元化してはならないということは、信仰者の課題としてしばしば問題にされることであるが、礼拝を守るだけでは信仰が現実と結びついていないと考えるのは誤っている。なぜなら、私たちは毎週の礼拝の献金という場において、現実と「①直面させられ、②自分を試みられ、③訓練させられる」からである。信仰と現実が二元化してはならないということは、礼拝と実際生活が別々なものであってはならないということなのであり、それが最も具体的にされているのが、献金の時なのである。

したがって、礼拝の中に献金というプログラムがあるのは、少しもおかしいことではなく、むしろ必要なことである。献金をするときに、私たちは昨日までの現実生活を、もう一度信仰に照らし、明日からのそれを信仰に結びつけるべきなのである。だから、回されてくる献金のかごに、機械的にお金を入れるよりも、額にこだわり、家計簿を思い起こすほうがはるかによい。献金においてもい

わゆる金放れがよいことは、やはり望ましいことには違いないが、ある時は心に葛藤をおぼえながら、ふところにお金を握りしめることがあっても、それをあなたが悪いことであるとか、不信仰であると決めつけることはできない。現実を意識しない習慣化した献金より、汗ばんだレプタのほうが、貴いからである。

献金においては額は問題ではないと言われるが、それは、心が大切だという意味と、人との比較を戒める意味においてのことである。献金は額が大切である。額を考えない、無神経な献金、額が自分の生活と少しも関わらない、無自覚な献金などは、堅く戒められなければならないのである。

ある日曜の朝、娘が百円玉をもって私の所にやって来て、十円玉に替えてくれと言った。言うとおりにすると、彼女は十円玉を三枚、献金の袋に入れながら、「これは神様の分」と言って、ちょっとはにかんだ笑いを見せた。手元に残した「自分の分」のほうが多かったからかもしれない。

献金をするときにその額を考えると、「①どれだけのものを、②何のために、③だれに」ささげるのかという自覚を、ハッキリ持つということにほかならない。なぜなら、礼拝の献金は、神に対する私たちの意思表示だからである。

(続く)



まつりかひろてにはかとうしゅうそん
茉莉花を拾ひたる手もまた匂ふ (加藤楸邨)

ジャスミンはモクセイ科の常緑低木で、西アジア原産の香料植物の花。世界に約200種あり、茉莉花はその一種。夏に咲く直径三センチほどの白い花は香水の原料となる。中国のジャスミン茶は乾燥した花を香料として加えたもの。キリスト者に触れた者へキリストの香りが伝播していく、そんなジャスミンのごとき証しを残したい。

2018年度教会目標 **「弟子の覚悟をもって」**

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



7/28(土)「奇跡のトロンボーン」亀井玲司さん

メッセージ: 岩井基雄

兵庫県神戸市在住のトロンボーン奏者・亀井玲司さんは、クラシック、ポップス、ジャズなど幅広い分野で活躍しています。そんな亀井さんは、交通事故に遭い、音楽家生命が絶たれるのでは、という経験をしたといいます。今年、プロの演奏家として活動を始めて25周年を迎えた亀井さんにお話を伺うとともに、5月に神戸で行われたコンサートから演奏をお届けします。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、ライフライン
の協力教会です。

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>
電子メール: info@toyosakakyokai.net
ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

